

平成23年9月30日(金)  
(財)石川県埋蔵文化財センター  
担当：調査部国関係調査グループ  
電話：076-229-4477  
内線：6540

## 小松市宮の奥<sup>きょうづか</sup>経塚の発掘調査概要について

(財)石川県埋蔵文化財センターが発掘調査を進めている、小松市宮の奥経塚の調査経過の概要について、以下のとおり公表します。

### ◆調査概要

#### 1 所在地等

- (1) 調査地 小松市遊泉寺町地内
- (2) 関係機関 県土木部道路建設課(南加賀土木総合事務所)
- (3) 調査原因 道路改良事業 主要地方道小松辰口線
- (4) 調査主体 石川県教育委員会  
調査担当：財団法人石川県埋蔵文化財センター
- (5) 調査期間 平成23年6月21日～同年10月末(予定)
- (6) 調査面積 2,200㎡

#### 2 調査の概要

宮の奥経塚は標高35mほどの丘陵頂部に立地し、現在5基の塚を調査中である。

そのうちの3基、1号塚・2号塚・3号塚は昭和28年(1953年)に調査され、和鏡や木炭、鉄製品が出土し、塚内部に石組みが確認されたことなどから、経塚として報告された。

今回の調査で出土した土器から、平安時代後期から鎌倉時代(11世紀後半から13世紀)にかけて造られたものであることがわかった。

また新たに2基、4号塚(方形、一辺6.5m、高さ約1m)・5号塚(方形、一辺5.5m、高さ約0.6m)を確認した。塚裾部には、長さ30cm以上の平たい割り石が貼り付けられ、上部に川原石が並び、周囲に溝がめぐらされている。

本県においては経塚の調査事例が少なく、当時の人々の信仰を考える上で貴重な調査例となる。

今後、4号塚・5号塚の高まりをさらに調査し、性格について確認していく予定である。

## 《 参 考 》

### ◆一般公開

#### 1 現地説明会

- (1) 日 時 平成23年10月2日(日) 午前10時30分～11時30分(小雨でも実施)
- (2) 場 所 小松市宮の奥経塚発掘調査現場
- (3) 目 的 宮の奥経塚発掘調査の成果を公開する
- (4) 対 象 県民、考古学に関心のある方
- (5) 内 容 発掘調査の概要説明と出土品の公開

#### 2 主 催 石川県教育委員会・財団法人石川県埋蔵文化財センター

- 問合せ先 ○財団法人石川県埋蔵文化財センター 調査部 国関係調査グループ  
電話 076-229-4477(内線6540)  
090-5173-0205(調査事務所)

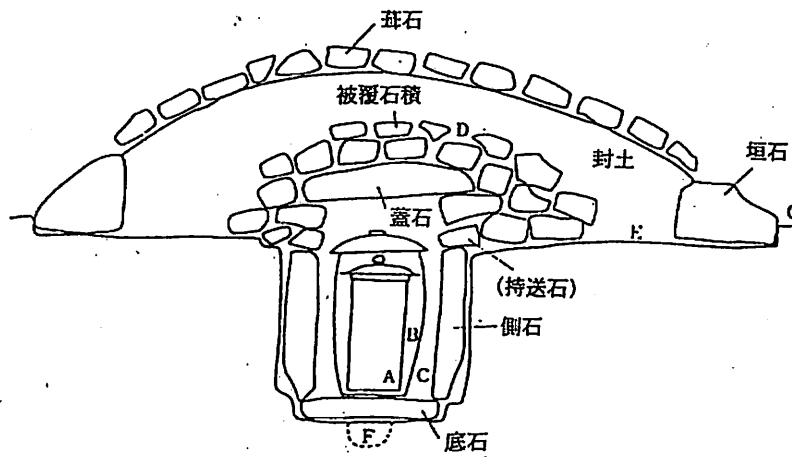
- 石川県教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財グループ  
電話 076-225-1842(内線5629)

《 参 考 》

◎経塚（きょうづか）

- ・平安時代の末法思想により、仏教経典を書写し、仏法滅亡後の経典の消滅に備えて地下に埋納し、その上に小さな塚を築いたもの。

山川出版社『日本史広辞典』より



経塚模式図

奈良国立博物館 1977年『経塚遺宝』より

# ◎宮の奥経塚の位置



## 周辺拡大図



\*現地へは矢印のようにお越し下さい。

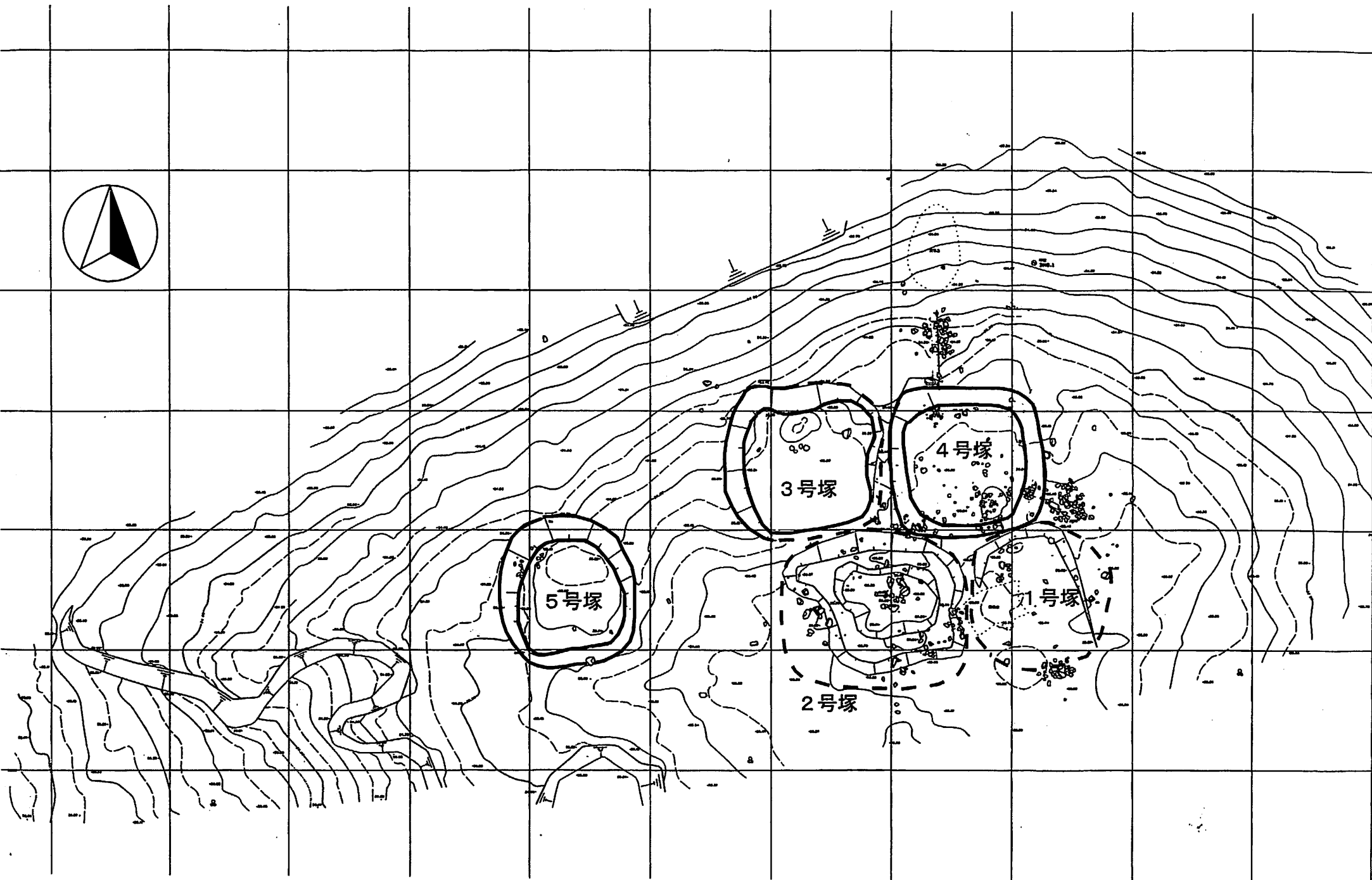
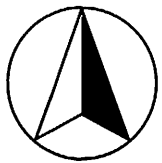




4号塚 裾部の石（東から）



発掘調査の様子（東から）



宮の奥経塚 塚配置概略図

0 5m